

2020年4月30日

外務大臣 茂木敏充 殿

新型コロナウイルス国際対応の誓約会合に向けたセーブ・ザ・チルドレンの要望書

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は世界的な脅威であり、国際社会は最貧国が COVID-19 の感染拡大に対応できるよう支援を提供することが喫緊で求められています。COVID-19 はすでに世界経済に壊滅的な打撃をもたらし、世界中の保健システムに多大な負荷がかかっています。学校が閉鎖され、ビジネスが破綻し、多くの家族が財政的な保障がなく苦境に立たされ、子どもたちにも直接的な影響が出ています。セーブ・ザ・チルドレンは、世界の子どもたちにとっての大惨事を回避するために、5つのアクション—感染症の封じ込めと鎮静化、国際的な資金拠出、各家庭への生活補助、教育・学びの維持、子どもたちの安全と保護—を国際社会に呼びかけています。

セーブ・ザ・チルドレンは、5月4日にEUの主導で行われる COVID-19 の国際対応に関する誓約会合を行動のための重要な機会と捉えています。この会合に先立ち、各国政府および組織に対し、COVID-19 と闘うための 80 億ドルの拠出が呼びかけられています。世界レベルでの感染症対策のリーダーであり、また COVID-19 に対する国際支援を先陣を切って実施してきた日本政府にもぜひ会合にご参加頂き、リーダーシップを示して頂きたいと考えています。誓約会合で資金のおよび政治的な支援を表明頂くことで、さらなる感染拡大を抑制し、子どもたちを守り、南アジアおよびサハラ以南アフリカで危機に直面している 300 万人の命を救うことができます<sup>1</sup>。最貧国を支援するためには、国際協調による対応と保健システムへの支援が不可欠です。子どもの命を守る取り組みにおけるこれまでの進捗を後退させるわけにはいきません。

誓約会合への参加を検討されるにあたり、ぜひ以下の点を優先して頂きたく、お願いいたします。

- **COVID-19に向けた国際協調メカニズムへの資金拠出**

国連各機関およびその他の国際および地域機関による COVID-19 への包括的で国際的な協調を可能にし、また各国主導の対策を支援するための資金拠出が求められます。パンデミックへの国際レベルそして各国での対応における世界保健機関（WHO）のリーダーシップは不可欠であり、WHO が必要とする資金を援助国は継続して拠出する必要があります。国際協調により、すべての国が必要とする検査体制の強化や防護具や医薬品の確保ができ、パンデミックに対応できる強固な保健システムが構築できるようにすることが求められています。

- **保健システム強化に対するより多くの資金拠出と支援**

保健システムの強化は、パンデミックの直接的および間接的な影響に対応するために必要不可欠です。後発開発国および紛争の影響下にある脆弱国家におけるプライマリ・ヘルスケア、最前線の医療従事者や精神保健・心理社会的支援、保健医療施設における水・衛生のインフラ整備などの公的な保健・栄養のシステム強化のための新規資金が必要です。これは COVID-19 対策を進めながら、母親と子どもの命を救う必要不可欠な保健・栄養サービスを継続して提供し、他の疾患の感染拡大を防ぐためにも必要です。

<sup>1</sup> Imperial College COVID-19 Response Team による 3月26日付報告書より：

<https://www.imperial.ac.uk/media/imperial-college/medicine/sph/ide/gida-fellowships/Imperial-College-COVID19-Global-Impact-26-03-2020.pdf>

- 新たなワクチン、検査、治療薬への衡平なアクセスの確保**  
 COVID-19のワクチンや治療薬が新たに開発された際に、国際間で衡平なアクセスを保障するための十分な規定を策定してください。必要としているすべての人々がこれらワクチンや治療薬にアクセスできるよう、公的な支援、アクセシビリティ、購入価格の条項に公共性を重視した措置を設け、非独占的ライセンスの導入などを条件としてください。このためには、新たに立ち上げられた Access to COVID-19 tools (ACT) Accelerator のようなメカニズムを活用し、すべてのアクターの国際的なアカウントビリティを確保することが重要です。
- ワクチン供給と予防可能な乳幼児死亡の削減への継続的な貢献**  
 GAVI は後発開発国における通常のワクチン接種を維持・促進し、COVID-19の危機下で新たな感染症拡大を回避する役割があります。本誓約会合の80億ドルの目標にはGAVIへの拠出金は含まれませんが、GAVIへの早期の誓約を本誓約会合において追加的に行うことは、6月のGAVI誓約会合の成功のためにも望ましいと考えます。GAVIへの誓約は通常の必須の予防接種を維持するとともに、COVID-19のワクチンを低・中所得国でも確保できるようにするために重要です。
- 財源の多様性と透明性の確保**  
 世界経済が縮小する中で、ODAは貴重な財源となります。研究開発への投資は、ODAの供与を受ける被援助国のみが対象となるわけではないことから、誓約については多様な財源から検討されるようお願いいたします。
- 保健サービスの無料化への支援**  
 COVID-19のワクチン及び治療薬への投資と共に、援助国はCOVID-19の感染拡大による危機的な状況が続く間は、少なくとも脆弱な立場に置かれた子どもとその家族に対しては公的および民間の保健・栄養サービスを無料にする取り組みを支持し、支援してください。
- 長期的なアプローチの確保**  
 本誓約会合はCOVID-19に対する喫緊の対応に注力するものの、国際社会はCOVID-19との闘いにおける長期的なアプローチでリーダーシップをとり、保健への衡平なアクセスと取り組みを改善し、将来の感染症拡大やパンデミックに対応可能でより強固でレジリエントな保健システムを構築することが求められます。

日本がこれまで迅速に示してこられた COVID-19 における国際支援に心より敬意と感謝を表しますと共に、本誓約会合においても引き続き強いリーダーシップをお示し頂きますよう、お願い申し上げます。

以上、ご賢察の程よろしくお願い申し上げます。

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 専務理事・事務局長  
 三好 集

【本提言に関するお問い合わせ】  
 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン アドボカシー室  
 東京都千代田区内神田 2-8-4 山田ビル 4F Email: [japan.advocacy@savethechildren.org](mailto:japan.advocacy@savethechildren.org)